

静岡県有機農業推進計画 改定の概要

背景等

生物多様性保全や地球温暖化防止等に高い効果を示し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するとして、**有機農業の取組強化は世界的な潮流**

<国の有機農業関係の指針等の改定・策定>

●2020(R2).4月 有機農業推進基本方針の改定

10年後の生産・消費の目標として、以下を設定

- 【有機農業取組面積】 23.5千ha(2017)→**63千ha(2030)**
- 【有機農業者数】 11.8千人(2009)→36千人(2030)
- 【有機食品の国内シェア】 60% (2017)→ 84%(2030)
- 【週1回以上有機食品を利用する消費者の割合】 17.5% (2017)→ 25%(2030)

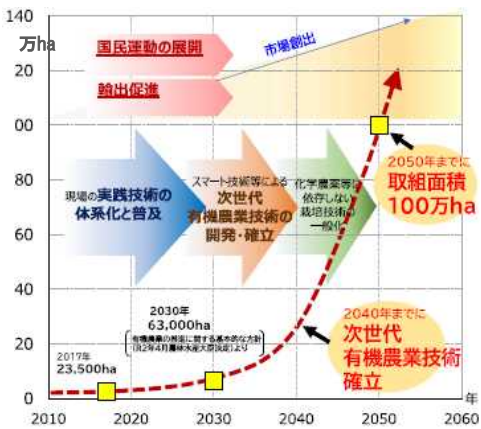
●2021(R3).5月 みどりの食料システム戦略の策定

持続可能な食料システム構築を急務とし、2050年までに目指す姿を提示

【目指す姿(2050)】

- ・農林水産業のゼロエミッション化
- ・**有機農業の取組面積割合25% (100万ha)**に拡大

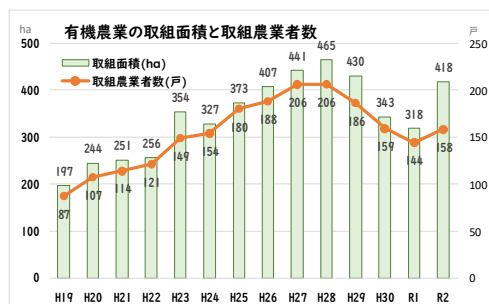
ほか全14項目



本県の現状

●生産の状況

県内の有機農業の取組は、**ピーク時(H28)より減少**しており、直近は農業者**158戸**、取組面積は**418ha**(R2地域農業課調査)
茶の取組が多く全体面積の約5割・**有機JAS取得も茶は7割超**



有機農業取組件数(作目別)

	JAS	非JAS
茶	75	54
水稲	32	5
野菜	75	10
果樹	23	3
その他作物	14	1
合計	219	73

●消費の状況

有機農業生産物を**購入したことのある人は6割弱**まで伸びたものの**近年は横ばい状態**

調査年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
有機農産物を購入したことのある人の割合(%)	26.2	25.0	30.7	45.7	57.3	51.0	58.7	58.5	60.2	58.7	57.0

静岡県インターネットモニターアンケート調べ

静岡県有機農業推進計画の概要(計画目標年度:令和12年度(2030年度))

取組目標

有機農業拡大には地域実態を踏まえた生産技術イノベーション、消費者意識における有機農業の価値の評価が重要。県は、国の基本方針目標や本県の現状を踏まえた目標を設定し、**生産、消費両面から有機農業を推進**。

- 【計画期間】 令和4年度(2022年度)～令和12年度(2030年度) 概ね5年後に見直し
- 【生産の目標】 **有機農業の取組面積 令和12年度(2030年度)までに820ha**
※418ha(R2実績)を基準として計画期間中の伸び率を国目標と同じ7.9%/年に設定。県実績(過去10年平均)は6.4%/年。
- 【消費の目標】 **週1回以上有機食品を利用する消費者の割合 令和12年度(2030年度)までに25%**
※国と同様の目標水準に設定。令和3年度県調査結果(参考値)は14.8%。

推進のための施策

生産拡大に向けた施策

■人材育成・取組の支援

- ・現場の**普及指導體制の整備**(指導員養成、現場指導、**有機農業栽培指針改定**等)
- ・生産者相互、生産者と研究者との交流等を通じた生産技術**情報の共有、新技術の開発**・普及
- ・産地に適したグリーンな栽培体系への転換、定着に向けた**栽培技術や省力化技術の実証**
- ・**環境保全型農業直接支払制度**の活用による有機農業に取り組む生産者の支援
- ・新たに有機農業を行おうとする者への就農相談や技術指導、**研修や補助制度の情報提供**等

■産地づくりの支援

- ・有機農業の団地化や学校給食等での利用など、生産から消費まで一貫して、地域ぐるみで有機農業に取り組む市町等の支援による**モデル的先進地区創出**
- ・**茶をはじめとした**海外需要の高まりに対応した**有機農産物の産地づくり**支援
- ・適地確保に向けた関係者理解の醸成等

消費拡大に向けた施策

■販売機会の多様化の支援

- ・**インターネット利活用、異業種との連携**推進等による多様な販路の確保を支援
- ・生産者と実需者の意見交換や**商談促進、加工用需要の拡大、売り場確保**等の取組を推進
- ・**茶をはじめとした**海外需要の高まりに対応した**農産物の輸出体制づくり**の支援
- ・販路開拓に資する**有機JAS規格**等に関する知識の習得、制度周知・活用に向けた**講習会**実施
- ・有機JAS等に関する**補助制度や研修の情報提供**等

■消費者理解の確保

- ・有機農業の特徴についての知識**普及啓発**
- ・有機農産物等の**生産、販売、消費等の情報提供**
- ・生産者と消費者等の価値の共創に向け、**SDGsに貢献する取組を行う生産者の認証制度を創設**
- ・**食育、地産地消等との連携、産消連携**の推進等による有機農業者と消費者等との理解促進等

技術の開発と普及の促進

- ・開発、**実践されている技術情報の収集/技術組み合わせ**による地域条件に適合した**安定的な技術体系確立**
- ・有機農業者**ニーズや課題の的確な把握**/研究機関や大学、民間団体等における**研究や取組への反映**
- ・**省エネ、低コスト化、軽労化**につながる除草・防除の機械化**技術の研究成果情報の提供**
- ・研修等を通じた研究成果普及、指導人材育成、生産**現場の指導體制整備との連携**

推進体制

- ・有機農業の生産者や消費者、流通・加工・販売に関わる事業者、企業、大学、研究機関、行政等の関係者などの幅広い参画を得て、新たに**有機農業推進プラットフォームを設立**。
- ・A0Iプロジェクト、Cha0Iプロジェクトの成果等の活用など、先行している取組とも連携して有機農業を推進

